

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 ( 18 : 45 ~ 20 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	2	0	0	10

前回の改善計画	ケアマネは、新規の方の紹介があった時は、サービス利用前にできるだけ、早めに情報を収集する。介護の担当者を利用開始前に決めて、受け入れの準備期間を充分取れるようにする。事前の訪問 1 回の情報では不十分な所もあるので、サービス利用開始後 1 ヶ月以内にケアマネと担当者に情報を集中させて、話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングや記録類を通して、事前に情報を把握する事が出来ており、新規のサービス利用に生かしている。開始後の変化に就いては、日々のミーティングで話し合いや伝達を行っている。担当者を事前に決めることについては、不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	1	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	2	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	2	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	2	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングで情報を聞いているので、利用者の状況を把握して支援につなげている。 事前に資料に目を通して、情報を頭に入れて支援に当たるようにしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  ミーティングに参加できなかったり、記録を見る時間がなかったりすると、情報を充分把握できない。利用を開始する中でわかってくる情報もあり、シフト勤務の中で情報が変化している場合などは事前に把握しにくい。担当者を決めるのが遅くなり、意識的なかかわりが曖昧になった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
担当者を早めに決めて、サービス開始後の情報収集を行い、支援に生かせるようにする。 引き続き、毎日のミーティングで、情報共有し、記録にも残し、新規の方への適切な声掛けや支援につなげるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 ( 18:45~20:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	3	2		10

前回の改善計画  
 個々の職員は、できるだけ、会話の中から、情報を集め、目標を掴むように、ケアマネ担当者と共にミーティングやカンファレンスで深めて具体的な目標を掴んでゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 日々の介護の中では、その時々本人のしたいことや希望に合わせて、対応できている。  
 大きな目標は個々の利用者によって掴みにくい人も多いが、モニタリングや日々のミーティングを通して把握できている利用者もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	3	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	3	4	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	4	1	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	2	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 モニタリングやミーティングを通して、目標を掴み、日々の介護で希望がかなうように意識して支援できている人もいる。  
 利用者の希望に合わせて、訪問や買い物等の支援を行っている。  
 係わった内容をミーティングで発言し、次の実践に役立っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 個々の利用者によって、本人の希望に合わせたサービス提供が出来ない人もいる。  
 又、より深くかかわりをもって本人の気持ちを引き出すような会話をしていないので、本人の希望がわからない場合もある。認知症で会話が困難であったり、気持ちが時々で変わる人もいて、把握するのが難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
 個別のカンファレンスを通して、本人の希望や目標が把握できるような話し合いを行う。  
 個々に係わった利用者とのエピソードをそれぞれが会議の場で積極的に発言し、本人の希望 (目標) を把握できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 ( 18 : 45 ~ 20 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	2	5	0	10

前回の改善計画
生活歴や本人の気持ちを記入できる、センター方式の用紙を使って情報把握を行い、家族や周りの人からの情報も踏まえ、本人の声にならない思いを言語化できるように担当者を中心に話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
センター方式を導入するに当たっての準備や研修まで手が回らず、センター方式の用紙は使わなかった。しかし、その人の希望を出来るだけ聞いて、望む日常生活の継続が出来るような支援を行うことはできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	8	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	4	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	2	5	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	2	6	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	3	5	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の気持ちや状況に合わせた介護や支援が出来ている。基本的な介護は出来ている。大まかな本人の生活は把握しており、その上で問題点がないかを把握し、ミーティングで話し合っ、情報を共有するようにしている。介護拒否などには成功事例や他の職員の情報などを共有し、改善につなげている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	入浴など、できるだけ本人の気持ちを尊重した働きかけを行っているが、入浴拒否などがあるとご家族様の希望通りに行かない事もある。体調の変化に対する臨機応変の対応や利用者同士のトラブルなどを治めることが、難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者様をより深く理解する為に、意識的な情報収集と職員間の情報共有・話し合いを引き続き行っていく。センター方式の導入は一つのツールなので、様式をどうするかは、学習や研修を通してよりよいものを探っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 (18:45~20:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	2	7	0	10

前回の改善計画	地域の行事の情報を運営推進委員の町内会長さんから知らせてもらう様、協力を得る。 利用者が地域行事に参加できるように、準備を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナ感染症の対応で、地域の行事や日常生活がかなり制限され、参加の機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	5	0	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	6	0	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	8	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族や友人・知人との関係はコロナ渦でも継続できるように、感染対策を行った上で、個別の利用者の繋がりは保てるように援助を行った。 民生委員さんに連絡を取り、必要な情報を交換し、ゴミ捨て等の援助を依頼したり協力を得ることが出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること イベントや行事の中止や、ゆうばえの家に来て下さったボランティアの来訪も中止になり、地域との交流の機会が大幅に減った。 本人を取り巻く人間関係や地域との関係の情報収集に意識して取り組めなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 担当者を中心に、まだ充分情報収集できていない部分を把握し、スタッフの日々の対応から得られる情報や民生委員さん等から知りえた情報を記録し、ミーティングで共有し、本人の地域での生活を支援する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 (18:45~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5	5	0	0	10

前回の改善計画	本人の思いと家族の思いが異なる場合は、中に入り、すり合わせを行い、納得のうえで支援できるように調整を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の気持ちや様子を家族に伝え、又、職員の対応も伝え、ご家族からは家での様子をお聞きし、問題を家族と共有するようにしている。それが家族や本人との関係に良い結果をもたらす事もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	5	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族や本人の希望に沿って柔軟な対応をしている。 また体調の変化による急な訪問や受診の援助などもできている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 記録にわかりやすく残すことが、忙しいと出来ない。(詳細の記録ができず) 地域の資源をよく把握していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者や家族の思いに沿った柔軟な対応を引き続き行う。利用者や利用者の気持ちを良く把握する為に、情報交換を密に行い、柔軟な対応に心掛ける。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 (18 : 45~20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	3	4		10

前回の改善計画  
利用者のケア会議など、介護職員も会議の場にはなるべく出られるようにする。  
また、知らない人もゆうばえの家に寄っていただく様に、宣伝と準備を行う。(昨年と同様)

前回の改善計画に対する取組み結果  
コロナ感染対策により、会議そのものの縮小や自由に面会や面談が出来ない事となり、連携は消極的なものになってしまった。しかし、後半は感染対策を行った上で、介護職も会議に参加したり、必要に応じて電話やメールなど、又書面による情報交換を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	0	7	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	0	7	0	10
	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	0	7	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	10	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
医療機関や訪問看護などとは必要に応じて連携し、情報提供や連絡調整などを行った。また本人の必要に応じて、地域のお店や福祉用具の会社などとの連絡調整・直接支援などを行った。  
地域の住民が道に迷っている利用者を施設に連れてきてくれたり、地域の認知症高齢者を警察に連絡して家族へ連絡できたケースなどがあった。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域の各種活動やイベントに参加できなかった。(コロナ渦で、活動が見えなかった)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
引き続き、地域の情報を集める為に地域包括支援センターなどのケア会議などに参加し、そこで得た情報の共有を図る。(他の職員に伝える)

業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 ( 18 : 45 ~ 20 : 00 )

7. 運営

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	2	0	0	10

前回の改善計画  
会議の場で、誰もが自由に発言できるような会議の運営を心掛ける。「人の意見に対して批判はしない」と言うルールを徹底し、みんなが意見を言えるような会議運営を心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果  
会議の場では司会者が発言を促したり、順番に話したりなど、発言の機会を作り、意見交換できている。議題に対する自分の意見は言えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	6	4	0	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	5	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	10	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
家族や利用者様からの意見や苦情などは、ミーティング等で共有し、対応を話し合っている。思った事を発言できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
地域との共同した取り組みが出来ていない。(避難訓練や、祭りなどのイベント)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
避難訓練や地域での会議、イベントなど、コロナ感染対策を行い、感染状況を見ながら、取り組めるものは地域と共同して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 (18:45~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7			10

前回の改善計画	<p>部署会議とは別に時間を取って、講師を呼んでの研修や伝達研修を2ヶ月ごとに行う。 研修会の内容を現場に反映出来るように、ケース事のプランに生かす取組みを職員間で話し合う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ感染予防の為に、集まったの研修会を自粛していた事もあり、予定通り行えなかった。 年度の後半はズームでの研修の報告を部署会議で行ったり、短時間のミニ研修を行った。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	5	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	0	10	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	0	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	5	0	0	10

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>感染対策、高齢者虐待、接遇などの内部研修、話し合いは出来ている。 全員で決めた事は守るようにしている。 感染状況により、開催案内のあった外部研修には、一部の職員が参加できた。 職員会議で、ズーム研修を受けた職員からの伝達研修を行った。 認知症実践者研修に参加できた職員がいる。</p>
--------	---

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>外部に出かける研修や、講師を呼んでの研修会はコロナの影響で行えていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今後、外部研修はズーム研修が中心になると考え、ズーム研修を受け易い環境を整える。 部署会議の時に研修時間をとって、必要な研修を行う。 地域包括支援センターや地域のネットワークに関わる研修には出来るだけ代表で参加できるようにする。</p>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 3 月 10 日 (18 : 45～20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大島・丸田・田中・塩崎・池田・田村・服部・若杉・石川・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	5	0	0	10

前回の改善計画
利用者のプライバシーを尊重し、フロアーで利用者の引継ぎなどは行わない。 書類の管理を適切に行い、人の目に付かないように気をつける。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングは畳の部屋か事務室で行い、フロアーの利用者に聞かれない様に気をつけた。 ミーティングは別室で行えたが、フロアーに居るリーダーや夜勤者などへ利用者の状況を伝える時には、声が聞こえた場面もあったと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	0	0	0	10
②	虐待は行われていない	10	0	0	0	10
③	プライバシーが守られている	6	4	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	5	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	5	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束、虐待は行われていない。ケアや動作を行う時は必ず声掛けを行っている。 大まかな引継ぎは申し送りノートに、それぞれが目を通し、直接伝えなければならない内容は個別に引継ぎをしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	引継ぎ時、声が大きくなることがある。 書類やパソコンの画面を開いたまま席を離れる時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	利用者についての情報交換は、場所と声の音量に気をつけて、利用者に聞かれないようにする。 ミーティングはフロアーの別室 (畳の部屋又は事務室) で声に気をつけて行う。

令和3年4月

法人名	社会福祉法人 ゆうえい会	代表者	久住 一男	法人・ 事業所 の特徴	「人生の夕映えの時に住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らす事」ができるよう、在宅支援を行っている。 小学校や幼稚園が近くにあり、子供たちや地域のボランティアの来訪が多い。また、毎月1回、「お茶の間」を開催し、地域の方との交流が行われている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 ゆうばえの家	管理者	渡辺 裕美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	1人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画が、日々の業務の中で忘れてしまい、あっという間に1年がたってしまうので部署会議の場などで適宜読み合わせなどで伝え、取り組みが継続されるようにする。	改善計画を意識して、会議などの場で確認するという事はなかった。(日常業務に流され、意識が薄かった)しかし、ミーティングの場で、日常的に目標に沿っての介護や支援が出来ているかは確認されていた。	個々の職員がいろいろな事を考えて、利用者に係わっている事が良くわかった。職員ががんばっている事を理解している。介護の仕方を教えてもらったりして、職員のおかげで介護が続けられている。	自己評価の内容は多岐にわたるので、時々ケースの検討や会議の場で改善計画の確認を行うようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	ごちゃごちゃした環境になりやすいので、掃除や環境整備に努め、花や植物を育て、居心地の良い空間を作る。	コロナ感染対策で、毎日の消毒や掃除を念入りに行って、環境整備に努めた。又、レイアウトを変えたり、荷物整理を行う等行った。花は季節ごとに利用者様や職員が持参し、いつも花のある環境で喜ばれている。	コロナ感染対策で、昨年度は委員の方も事業所の中に入ることができず、評価は難しいが、お便りなどの写真である程度は判断できる。	引き続き、感染対策の清潔保持とともに、掃除や環境整備を行い、居心地の良い空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き、ゆうばえの家のお便りや掲示板で地域の人に知ってもらう機会を作る。利用者さんの担当の民生委員さんと顔の見える関係を作り、相談し易い環境を整える。町内の行事やイベントなどの情報を運営推進会議の場を利用して把握し、参加できるように計画する。	お便りは各事業所やご利用者様に配布した。顔写真が多く載っているの、掲示板は積極的に活用しなかった。民生委員さんとは電話などで情報交換し、必要に応じて民生委員さんが出向いて下さり顔の見える関係ができた。地域のイベント等はコロナ禍で開催できず、交流もほとんどできなかった。	なかなか集まるのが難しく、しょうがない部分もある。	地域の自治会や民生委員さんとの情報共有や相談など、個々の事例により電話やケア会議への参加など、顔の見える関係を継続していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	一人暮らしの方が多いので、ケア会議には出来るだけ民生委員さんにも参加して貰うなど、地域とのつながりを意識して支援に生かす。 地域での買い物同行等、地域での当たり前の生活を継続できるように支援していく。	一人暮らしの方が多いので、日常生活を行う上での買い物や理美容等は感染に気を付けながら送迎や付き添いなどの支援を行った。訪問や配食などを組み合わせ、地域での生活を支えることが出来ている。	利用者様の日常生活が低下しないよう工夫を行っている。 理美容や買い物など、本人の今までの生活が継続できるように頑張っていると思う。	感染対策を行った上で、買物や外出支援等の日常生活上の便宜はなるべく制限しない方向で行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	個別の案件だけでなく、共通の課題を運営推進会議の場で問題提起をし、話し合いを行う様にする。	昨年はコロナ過で、会議自体の開催が少なかった事や地域のイベントや行事が行われなかったことも影響し、話し合いは難しかった。		運営推進会議やケア会議等を生かして地域のイベント等の情報を収集し、利用者に参加してもらったり、事業所の運営やプランに生かす。
F. 事業所の防災・災害対策	実際に訓練を行い、マニュアルを見直し、より具体的な内容に改善していく。 地域の防災情報を把握し、地域の担当者と話し合いを行う。	避難訓練は2回行ったが、地域と一緒に防火・災害時の訓練は出来なかった。		火災だけでなく、地震や風水害のマニュアルを見直し、訓練時には早めに計画を立て、地域の人にも参加していただくように計画する。

